



スマート保育園® 通信

12月号

特集1 写真活用具体例
子どもたちと写真でイベントの語り合いを！
北柏駅前保育園わらび インタビュー

コラム 保育者からの贈り物 Vol.4

特集2 大反響！ 保育業界最大級のオンラインセミナー
そして、91園参加の往還型ドキュメンテーション研修開講！

お役立ち情報 こんなときどうする？ 楽するためのショートカット

特集1 写真活用具体例 子どもたちと 写真でイベントの 語り合いを！

北柏駅前保育園わらび
インタビュー

千葉県柏市で最も伝統ある学園学校法人くろみ学園が運営する園、「北柏駅前保育園わらび」の小室園長先生、「北柏小規模保育園わらび」の西園長先生にインタビューしました。2016年からルクミーフォトをご利用、現在ではルクミーシリーズ全般をご利用いただいています。

——早速ですが、お二人の園長先生に質問です。日々心がけていることはありますか？

「できない理由を考える時間があるなら、できるための工夫に時間を使おう」私たちは、理事長の言葉を日々思い出しますね。コロナ禍でできないことが増えているかもしれま

せん。ただ、できることはあるはず、と新たなチャレンジができました。例えば、地域への発信として、コロナ禍で苦しんでいるのは自分たちだけでなく、地域の人たちを元気づけていかなくてはと考え「みんなで力をあわせていこう」「気を抜かないでねー」と横断幕作って、街の人々を応援しました。

さらに、運動会の企画も今回は5歳児を中心に決めました。競技も時間も半分な中で、「みんなでやりたい」



という声が多く「入場はお父さん、お母さんの前を通りたいので一周する」「先生たちに踊ってほしい」「3,4,5歳みんなでリレーしたい」と意見。やればできるもので、本当に面白かったです。キチツとした運動会も経験した保育者としては、良い経験でした。できないことをするのは難しいけれど、できるための工夫に時間を使って楽しく実践できました。

——北柏駅前保育園わらび様での写真活用の事例を教えてくださいか？

保育者は、行事の余韻を楽しんでほしいという思いがあり、土曜日の行事の後は月曜日に、保育者は園児



と一緒に写真を活用したドキュメンテーションや制作物を掲示しています。「こっちきてー、この写真みてー」と園児に呼ばれて、行事の振り返りができることは非常によいですね。

楽しかった経験を、写真を通して伝えたい、写真を見ながら伝えられる子どもの気持ちを、大切にしたい。そこで保育者も振り返りの機会が生まれています。



——写真撮影が保育者の負担になったりしてませんか？

負担感はないですね。むしろ園児や保護者へ発信したい気持ちが強いです。ルクミーフォト撮影アプリなら自動でクラス分けされてアップ



ロードもされますので、「このショットいただき！」と言いながら楽しそうに撮影していますよ。とにかく各保育者が手軽に自由に撮影しています。印刷する際も抵抗なく、スムーズに印刷し掲示しています。

そして撮影した写真自体は、ドキュメンテーション作成用、掲示・共有用、ルクミーフォト販売用などに分けたりしていないので、ここでも負

担はないですね。ただ、ブレ・ボケ写真などは期限を決めて各担任に整理してもらってます。

コロナ禍。長期化・収束がみえない、そんな中、わらび園様は園児や保護者様、地域を巻き込んで実践した数々の事例。楽しそうに語っていただく姿に、元氣とワクワクをもらったルクミーでした。

「できない理由を考える時間があるなら、できるための工夫に時間を使おう！」

保育者からの贈り物 Vol.4

わが家は転勤が多く、息子は4歳にして3回転園しています。普段から園のできごとやお友達の名前を自分から話すことがほとんどなく、転園する度に環境の変化やお友達と馴染んでいるのか心配していました。

現在通っている園では、連絡帳アプリがあるのでとても助かっています。ささいなことですが、転園してすぐ「喫食：おかわり」と書いてあっただけで「おかわりください」と言えるくらい環境に慣れたんだ！と非常に嬉しかったのを覚えています。

また、クラス活動の様子を日々記載してくれるのでその数行にも救われています。



現在

「今日何したの？」だと答えてくれない息子も、「今日は公園で鬼ごっこをしたの？」と聞くと「うん、こおりおにつけて言って、タッチされたらこんなふうになっちゃうんだよ！」と驚くほどスラスラと、楽しそうに話してくれるようになりました。息子としても、「ママ知ってるんだ！」といった様子で、通じることが嬉しく話しやすいようです。

今年はコロナ禍で保護者が行事に参加できない場面もたくさんありましたが、その分運動会や日常の様子を動画や写真で共有していただきました。息子の成長はもちろんですが、写真を見るだけで先生のことが本当に好きなんだというのが伝わってきました。

保育園嫌いでも毎朝机の下に隠れていた息子ですが、今では保育園が大好きです。本当にありがとうございます。



登園拒否していた頃

特集 2

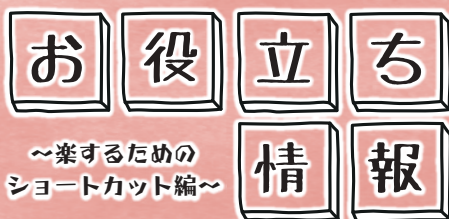
大反響！ 保育業界最大級の オンラインセミナー

91園参加の往還型
ドキュメンテーション研修
開講！



登壇モデル園・お話のテーマ

- ◆ 認定こども園さくら(栃木県)
「園発信！新たな地域を生み出す3つの条件」
- ◆ たかさごスクールおおたかの森(千葉県)
「保護者や保育者を惹きつける工夫と園マネジメント」
- ◆ 心育保育園(岡山県)
「ICTの力でゆとりが生まれ、一人一人に
向き合う保育を実現!!」
- ◆ にこにこ保育園(香川県)
「ICTと一緒に子どもたちや保育者や
おうちの方たちの幸せ探しに行こう!」



Q. パソコン作業中、保存する前に資料を閉じてしまい、途中上書き保存し忘れ、資料作成が振出しに戻ってしまいました(涙)
何か対策はありますか？

A. 一瞬で上書き保存する方法があります:「Ctrl」と「S」を同時に押してみてください。
ルクミースタッフも、上書き保存し忘れ、数時間掛けて作った資料が作り直し、ということがありました。泣けますよね…。
そんなときは、キーボードの謎のボタン<「Ctrl」を押しながら「S」>を押してみてください。覚え方は、Save(セーブする、保存する)のSです！
わずか1秒もかからず、上書き保存してくれます。作業中も思い出す度にカンタン保存。これで、資料作成が振出しに戻る悪夢とは、さようならです！ようやく謎のボタン「Ctrl」君の使い道がわかりましたね！
※Macをご利用の方は「Command」と「S」になります

11月24日から28日の全5日間、コロナで失われた研修機会を少しでも補填すべく、ルクミーでは「保育をどうしよう未来会議」を開催しました。累計6,000件の申込を頂き、視聴いただいた保育業界の皆様より、ルクミーの取り組みに、モデル園の皆様と進めているスマート保育園®活動に、大きな反響を頂戴しました。(※録画配信を開始いたしましたので、是非ご登録の上、ご覧ください。1月末まで録画配信しています)

保育業界から、汐見先生、無藤先生、大豆生田先生をはじめとした魅力的な皆様、ビジネス界からiPod,iPhoneを提供するアップル社、元日本法人代表の前刀禎明様、スマート保育園®モデル園からは、4園にご登壇頂きました。(※モデル園ご講演内容は左下のテーマ一覧へ)

11月28日には往還型ドキュメンテーション研修が開講。モデル園集合研修をベースとした内容で、91園161名にご参加いただきました。チャレンジテーマを設定し、写真を読み取り、語り合い、写真付き記録・ドキュメンテーションを使用した保育の振り返り手法を2月まで学んでいきます。

モデル園、そして、スマート保育園®にご関心頂いている皆様と一緒に、ルクミーは引き続き前に進んでいきます！





全国の数百園のご応募の中から、スマート保育園®のモデル園11園が選出されました。

当園は、スマート保育園®のモデル園です。

1.

複雑な保育の現場業務を、見える化し、その中にひそむ課題を洗い出します。

2.

ルクミーの全5サービス*を全て導入して、園業務を効率化し、保育者がお子さまに向き合う時間を増やします。



3.

保育者へのオンライン研修や保育者ケアなど、保育の質向上への支援を受けます。



スマート保育園®って？

テクノロジーの支援で保育者の「心」と「時間」にゆとりが生まれ、子どもと向き合うことに集中できる保育園です。

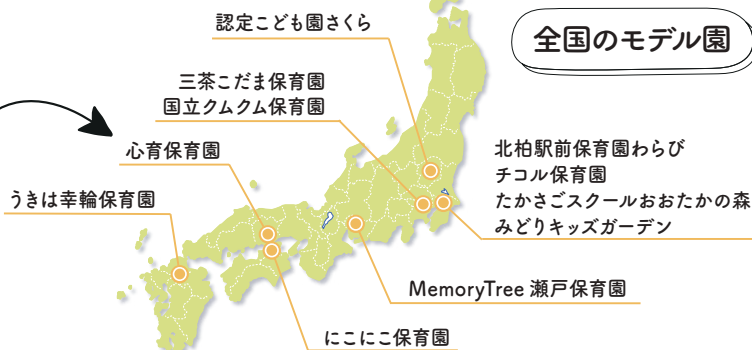
お子さまと「もっと向き合いたい」という、保育者の想いを支えます。

スマート保育園になると、子どもにとってはどう良くなるの？

紹介動画をご覧ください



※お使いのカメラアプリで、QRコードが読み取れます。



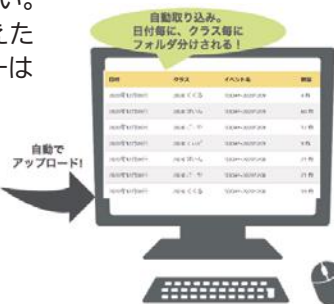
ルクミーが見た 保育者のお仕事

お子さまの日常のお写真を保護者の皆様に伝えたい保育者です。お子さまは、日々の園生活の中でたくさん遊んで、学んで日々大きく成長しています。保育者は、そんなお子さまのかけがえのない変化を伝えたい、残したい、届けたい思いで写真を安全に撮影しています。園での大切なワンシーンを記録写真は、お子さま、保護者様、保育者みんなの宝物です。

問題はその後。デジカメでは、SDカードから、画像データをパソコンに写真をアップロードして、日付分け、クラス分け、となかなか手間のかかる作業があります。

ルクミーフォト撮影アプリを利用すると、クラスを設定すれば、「撮影～パソコンへの取り込み、整理の手間」がありません。

大切な写真を通して、もっと見たい。もっと見てほしいを、もっと叶えたい、という皆様の想いをルクミーはサポートしていきます。



Creating new infrastructure for society that brings happiness to families around the world

家族の幸せを生み出す
あたらしい社会インフラを
世界中で創り出す



UniFa